

公共交通地区別座談会 館山地区

開催結果報告書

平成30年10月30日
館山市企画課

【もくじ】

0.公共交通地区別座談会の実施目的	3ページ
1.公共交通地区別座談会（館山地区）実施概要	4ページ
2.館山地区の特徴など	5ページ
2-1.館山地区の位置（GIS地図から）	6ページ
3.館山市の公共交通の現状に関する説明	7ページ
4.路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度の説明	7ページ
5.グループワーク	8ページ
5-1.館山地区 Aグループで出された意見	10ページ
5-2.館山地区 Bグループで出された意見	12ページ

0.公共交通地区別座談会の実施目的

- ◆今年度及び2019年度（平成31年度）の2年をかけて策定する「館山市地域公共交通網形成計画」に、地域住民の生の声やニーズを収集し、分析を行う
- ◆分析結果については、計画内容になるべく具体的に反映させるとともに、当該地域における移動手段の必要性や確保策などについて検討するための資料とする
- ◆移動手段の必要性や確保策の検討結果を踏まえ、その導入や維持について検討していく

1.公共交通地区別座談会（館山地区）実施概要

【日時】

- ◆2018年（平成30年）10月23日（火曜日）午後2時から午後3時45分

【会場】

- ◆館山地区公民館

【参加者数】

- ◆館山地区住民9名（女性5名、男性4名）

【内容】

- ◆館山市の公共交通の現状について、資料を用い説明（市企画課職員）
- ◆路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け割引制度説明（館山日東バス・ジェイアールバス関東社員）
- ◆グループワーク
 - 参加者をA・Bの2グループに分割し、それぞれに市企画課職員を配置
 - 下記のテーマについて、参加者が意見を出し合い、それを付箋に記入し可視化
 - ・お住まいの地区に必要な公共交通はどのようなものですか？また、理想の公共交通を実現するため、住民の皆さんでできることはありますか？

※ファシリテーションは各グループの市職員が担当

- 最後に、市職員が各グループで出た意見等を発表

2.館山地区の特徴など

【地区の生い立ち、特徴】

- ◆館山市中央部に位置し、館山夕日栈橋や館山城（城山）、自衛隊基地が所在する
- ◆館山城の城下町、汽船等が発着した港町として、古くから栄えた地区

【商店分布・交通の状況】

- ◆大型スーパーマーケットが地区内に2軒所在し、医療機関も複数存在する
- ◆真倉方面（国道410号バイパス沿い）に近年商業施設が複数オープンしている
- ◆バス路線は、館山駅から宮城・西岬方面に行く路線、上真倉から神戸・白浜方面に行く路線と、青柳から豊房・神余・白浜方面に行く路線の3つに大別される
- ◆沼・宮城・笠名集落の山側はバス停から距離がある

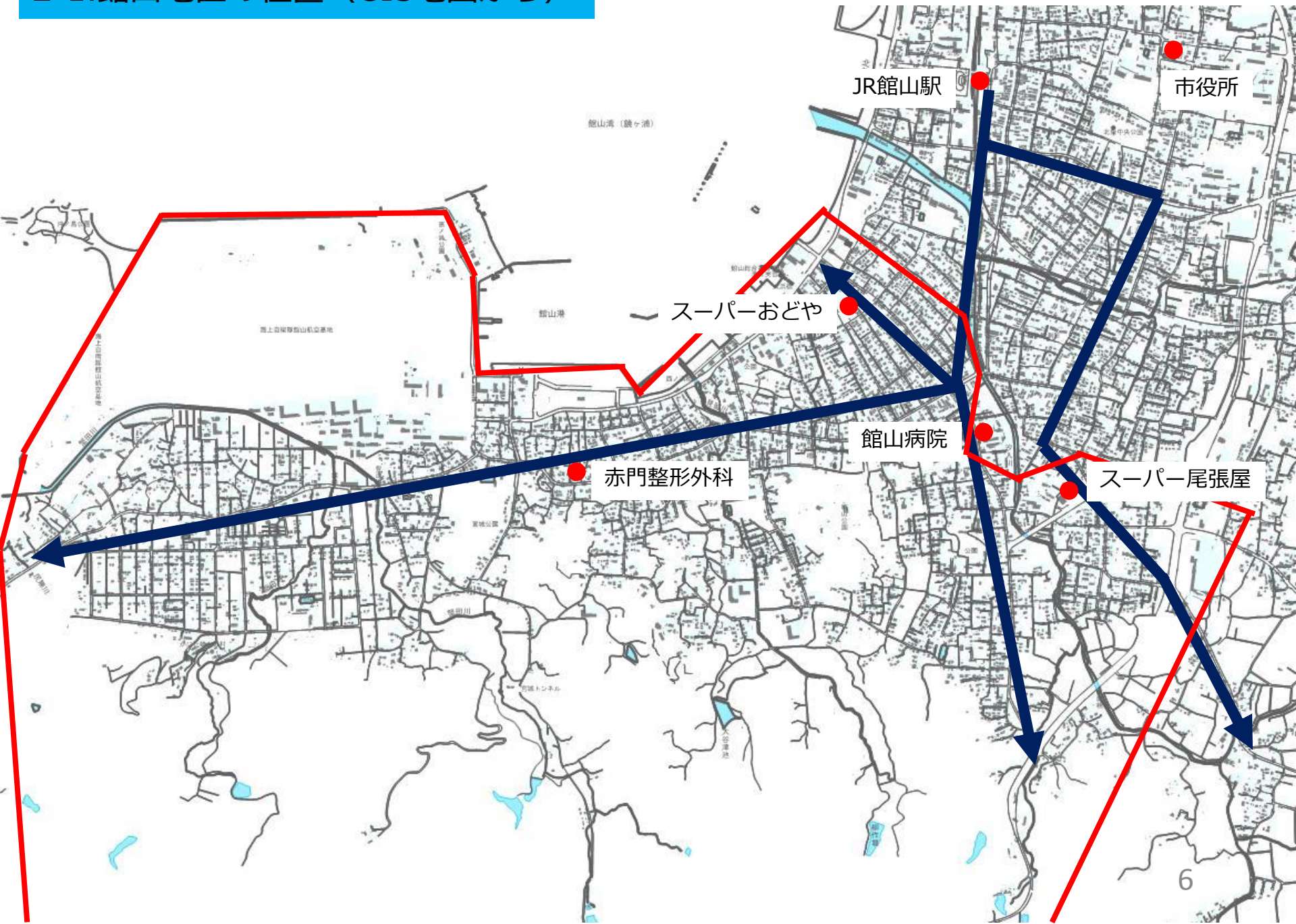
【人口の状況等】

- ◆4月1日現在、地区人口11,442人（平成20年度比89.6%）
高齢化率36.8%（平成20年度高齢化率27.4%）
館山地区内集落別高齢化率：大賀集落26.7%～館山集落42.2%
自衛隊員が多数居住しており高齢化率は低めだが、40%を超える集落もある

※住民基本台帳人口を基にした館山市統計データを参照

2-1. 館山地区の位置 (GIS地図から)

青線：館山駅からのバス路線



3.館山市の公共交通の現状に関する説明

【説明内容】

- ◆鉄道・路線バス・タクシーとも、利用者が減少傾向であること
- ◆加えて、バス・タクシー業界では担い手不足や高齢化が課題であること
- ◆事業者の独立採算では公共交通の維持が難しくなっていること
- ◆公共交通を維持していくためには、行政・事業者・住民皆が「自分ごと」として捉え、連携して取り組んでいく必要があること

4.路線バスの乗り方、65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度の説明

【説明内容】

- ◆基本的な路線バスの乗り方について
- ◆65歳以上の免許返納者向け路線バス割引制度「ノーカーサポート優待証」の内容や発行方法などについて

5.グループワークの結果（1/2）

○A、Bの2グループに分かれ、意見を出し合った。（結果は10ページ以降に記載）

【主な内容】

◆バス停まで歩いて行けない人が存在する ※人により、300メートルでも歩けない人がいる

◆バスに乗っても、行きたいところに行けない

- ・バスに乗っても、目的地に行けない、又は乗継が必要となる
- ・高速バスへの乗継が悪い、朝早い時間の高速バスに乗り継げない
- ・市役所やコミセン、南総文化ホール等に直接行けない

◆タクシーがなかなか来ない

- ・館山中央交通の廃業により台数が減少し、呼んでもなかなか来なくなった
- ・早朝はタクシーが営業しておらず、バスも無いので出かける手段がない
- ・介護タクシーを利用することもあるが、こちらも台数が少なく、すぐには来てくれない

◆バスの乗り方が分からない、乗り場が分からない

- ・移住者や年配の人は、バスの乗り方が分からない/難しい場合がある
- ・バスの乗るのに勇気がいる
- ・バスの乗り方が運行会社によって異なると戸惑う

◆小型バスを導入し、費用を縮減、小回りをきかせる

- ・小型化し、増便、集落の中まで入れるようにする
- ・利用者数は小型で十分な上、維持経費も安いのではないか
- ・大型免許が不要のため、元気なシニア層がドライバーとして活躍できる

◆乗って楽しいバス・電車にする

- ・楽しいラッピングや車内での写真展示など、乗ってみたいくなる仕掛けを行う

5.グループワークの結果（2/2）

○A、Bの2グループに分かれ、意見を出し合った。（結果は10ページ以降に記載）

【主な内容】

◆高齢者も外出し、介護予防につなげる

- ・外に出てコミュニケーションを図り、健康を保つことが介護予防につながる

◆東京都シルバーパスのようなものを発行してみてもどうか

- ・東京より、地方部にシルバーパスのようなものが必要
- ・有償で購入し、日常のバス運賃の負担を軽減する

◆バス停～集落内までの足の確保が必要

- ・バス停から集落までの交通にライドシェアを導入する
- ・電動カート（ゴルフ場で使用しているもの）を導入する

◆まちづくりの視点を取り入れ、ニーズを把握する

- ・交通とまちづくりは切り離せないため、セットで考えるべき
- ・年を取っても元気でいられるまちづくりを考えるべき
- ・お年寄りのニーズをしっかりと把握する
- ・地域ごとの違いを把握し、検討していくべき

◆住民満足度の向上、衣食住の充実を優先に施策を考えるべき

- ・行政にも余裕が無いので、衣食住が満たされることを優先して考えるべき
- ・観光等に力を入れているが、まずは居住している市民の満足度を上げるべき

◆館山地区は、路線バスを維持していくことが大切

◆交通弱者のために、地域で先頭に立つ人（担い手）が必要

シルバーパス

シルバーパスは無料でなくても良いと思う

シルバーパスは都会より田舎のほうが必要

東京にはシルバーパスがあり、バス等が無料で乗れる

要望

海岸通りにもバスを通してほしい

ショッピングライナーのおどやでの待ち時間にお茶を飲む場所があればよいが

最低でも1時間に1本はバスを走らせてほしい

高速バスに接続させるため、早朝5時くらいのバスを走らせてほしい

スーパーでもシャトルバスを設けてほしい

困っていること

市役所に行く手段が無く不便

乗り遅れると1時間待たなければならず不便

移住者は送迎等を誰に頼んでいいかわからない

館山病院がバイパスに移ってしまうと行く手段が無くなる

都会で疲れた人が移住してくるが、買物ができず大変宮城はコンビニ程度しかない

コミセンに行くのが不便仕事があっても行けない

バスで宮城からイオンに行くと往復620円かかる

南総文化ホールまで行けない

バスの乗り方

移住してきて、バスの乗り方が分からない

年配の人にはバスの乗り方が難しい場合がある

バスの乗り方、降り方を教えてくれる人がいない

バスの乗り方が会社によって違うと戸惑う

バスに乗るのに勇気がいる

バスの乗り場は誰に聞けばよいのか

バスに乗っても戸惑う 乗り場や乗り方がわからない (若者はスマホで調べればわかるが)

タクシー関連

タクシーを呼んでも来ない

館山駅東口は寂しい タクシーが3~4台しかいない

バス停まで遠い人をどのように連れてくるか

タクシーは料金が高い(迎車料金がかかる)

館山中央交通が無くなり、タクシーが来なくて困る

介護タクシーは台数が多くない

タクシーを呼んでも来なければ知人に頼むしかない

タクシーが2社になったことは大きなダメージ

老人会の集まりにもタクシーで来ている人がいる
タクシーが頼みの綱

ノーカーサポート

ノーカーサポートの申請は代理人OKとしてほしい

ノーカーサポートは本人しか使えない(付添使用不可)

小型バス導入

小型の循環バスを導入してほしい

小型にすればバス会社の費用が下げられる

高齢者の外出

サークルの集まりにも参加できないお年寄りがいる
福祉のサロンに積極的に参加している

老人は外に出ないといけない サロンもやっているが

健康が一番 外に出られることがよい

今後の方針

館山地区は路線バスを維持していくことが大切

交通弱者のため、地域で先頭に立つ人が必要

その他

館山病院の送迎サービスはとても助かる

都会から移住してきたが、館山は不便でおすすめできない

昼は誰も乗っていないときがある

客が乗っていないとかわいそう

岡沼あたりは新興住宅地若者が多い

バス停から500mまでは歩けばよい

障害者就労施設と公共交通の連携を図る

困っていること

バス停まで歩いて行けない

行きたいところに行けない

運転免許がなく、将来不安

天野クリニックに駅から歩いていて遠い

医療センターに行くには乗換が必要

要望

高速バスとの乗継改善

フリー乗降の導入

1時間は待てない

バス設備の改善 ノンステップバスや手すり、暗くても見やすい行先表示等

料金を下げ、**シルバーパス**のようなものを導入すべき

福祉等他部門との連携

福祉と交通など、市の中での連携を強化すべき

福祉施策ともっとリンクさせるべき

小型バス導入

小型化して便数を増やす

小型化して小回りをきかせる

マイクロバスタイプで十分そのほうが費用も安い

シニアの方もドライバーとして働いてもらう

介護予防

外に出てコミュニケーションを図ることが大切

介護状態にならないようにする（予防）

満足度、衣食住の充実

住民の満足度を上げることが第一

優先順位を付けるべき まず衣食住に関わる場所

衣食住を満たすための政策を考えるべき

人口減にあわせた形で交通などを維持していく

まちづくりの視点

まちづくりもセットで考えるべき

年を取っても元気でいられるまちづくりを

お年寄りのニーズをしっかり捉える

地域ごとの違いを考えるべき

バス停～集落までの足

バス停まで連れてきてくれる仕組みをつくる

バス停から集落までの交通にライドシェアを導入

乗って楽しい公共交通

乗るのが楽しいバスや電車に仕立てる

その他

住民も費用を負担して公共交通を維持する

他地域の好事例を住民にもっと紹介すべき そこから考えられることもある

40年ぶりくらいに戻ってきたら本数が減っていてびっくりした

事業者もグループ化してコスト下げる